

せとうちちょう 議会だより

第149号

平成 25 年 5 月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～大島本島南部町村議会議員大会が本町にて行われました～



議事進行を行なう大会会長の
安議長（写真右中央）
本町提出議題の提案理由説明
を行なう林議員（写真左）



第 31 回大島本島南部議会議員大会（宇検村、大和村、瀬戸内町 3 町村で構成）が、4 月 23 日（火）瀬戸内町中央公民館で開催されました。

本町からは、「主要地方道名瀬～瀬戸内線及び一般県道曾津高崎線、一般県道篠川～下福線の改良促進について」（林 健二議員が提案理由説明）を提出し、採択されました。

こんなことを決めました

第1回定例会は、3月6～26日までの21日間の日程で開かれ、当初予算議案11件、補正予算議案13件、条例議案18件、工事請負議案8件、諮問1件、その他4件、議員発議1件の計56件の議案を審議し、可決しました。

平成25年度各会計予算議案11件については、議長を除く9名で構成する予算審査特別委員会（委員長 岡田弘通、副委員長 林 健二）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、原案のとおり可決し意見書を町当局へ提出しました。

（意見書は、次頁に掲載。各会計当初予算額については町広報誌5月号に掲載のため、割愛しました。）

また、議長を除く9名で構成する「持続可能なまちづくり調査特別委員会」（委員長 岡田弘通、副委員長 向野 忍）と「世界自然遺産登録に向けての調査特別委員会」（委員長 岡田弘通、副委員長 林 健二）の両特別委員会を設置し、調査することに決定しました。

主な議案の要旨は次のとおりです。

人権擁護委員に
榮 小知子氏

町長等の給与等に関する条例の改正

町長・副町長・教育長の給与を平成25年4月から1年間、5%減額するものです。

鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定

町内に生息する鳥獣による農林水産業被害を防止するため、法律に基づき実施隊を設置するもので、実施隊員の定数は20人以内とし、主な職務内容は、鳥獣の生息状況、被害発生時期の調査や捕獲駆除、被害防止技術等の向上及び普及指導を行なうものです。

暴力団排除条例の制定

暴力団事務所の開設の防止、暴力排除活動を実施するもの等に対する支援等並びに町民の安全かつ平穏な生活の確保を図るために必要な事項について定めるものです。

24 災道路災害復旧
工事町道薩川実久線
(1工区) 契約

復旧延長L120mを行なうもので、(株)泰江組と1億1130万円で契約しました。

24 災道路災害復旧
工事町道薩川実久線
(2工区) 契約

復旧延長L114mを行なうもので、奄美興発(株)と

1億9099万5千円で契約しました。

24 災道路災害復旧
工事町道嘉入阿多地
線契約

復旧延長L190mを行なうもので、丸福建設(株)と7507万5千円で契約しました。

24 災道路災害復旧
工事町道嘉入阿多地
線契約

復旧延長L160mを行なうもので、(株)藤田建設と5859万円で契約しました。

24 災道路災害復旧
工事町道西阿室瀬相
線契約

復旧延長L131mを行な

うもので、(株)勇建設と
9581万2500円で契
約しました。

23 災林地災害復旧 阿木名清水線(3号 箇所) 契約

復旧延長L11308mを
行なうもので、奄美興発(株)
と8085万円で契約しま
した。

加計呂麻港(瀬武地 区) 改修工事(2工 区) 契約

主な工事は、防波堤(基
礎工)L1158.5m、床掘
工V11万4454㎡を行
なうもので(株)町田建設と
9481万6050円で契
約しました。



予算審査特別委員会での
審査風景(委員会室にて)



平成25年度各会計予算審査意見

1. 自衛隊の拡充及び誘致については、専門家による調査研究・助言等をもとに積極的に取り組まれない。
2. 共生・協働によるまちづくりを推進するため、「地区コミュニティ職員」の配置見直し、活動経費確保等を検討されたい。
3. 古仁屋市街地における、光ファイバー網の整備について鋭意努力されたい。
4. 国立公園指定・世界自然遺産登録に向けての横断的な組織「推進室(仮称)」等を設置して積極的に取り組まれない。
5. 障害者の自立支援を図るため、管鈍校の有効活用について関係課が連携し、事業者への指導と集落民への理解が得られるよう鋭意努力されたい。
6. 介護保険事業の円滑なる運営を図るため、介護予防事業に尚一層鋭意努力されたい。
7. 地域包括ケアシステムの構築に向け、請島、与路島、西方地区等における介護サービスの格差是正に積極的に取り組まれない。
8. 足腰の強い一次産業、特に水産業の振興に鋭意努力されたい。
9. 六次産業の推進を図るため、農林水産物の特産品開発と販路拡大に鋭意努力されたい。
10. 実久戦跡をはじめ、未利用観光資源の発掘と整備活用について鋭意努力されたい。
11. 加計呂麻島展示・体験交流館整備事業については、管理運営、体験メニュー、展示品等について、建設検討委員会や関係機関と十分に協議し、町民に対する説明責任を果たされたい。
12. 消防団員の増と自主防災組織の強化に努め、安心安全のまちづくりを推進されたい。
13. 古仁屋高校の振興対策について、地元中学生が魅力を感じる学校づくりに努めるとともに、ふるさと留学制度が有効に活用されるよう、PR活動に鋭意努力されたい。

一般質問

第1回（3月）定例会では、6名の議員が町政全般に亘り、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

議員 災害に強いまちづくりについて

1. 渡船施設整備事業（須子茂地区）の今後のスケジュールについて

2. 町道須子茂く木慈線の復活は考えられないかお尋ねします。

町長 1. 須子茂の渡船施設整備事業につきましては、当初予算に計上し平成26年度完工・共用を予定しています。

2. 現在整備中の町道・林道の改良・舗装を行いながら、町道須子茂く木慈線につきましては将来的に検討させて頂きたいと考えて

おります。

議員 観光振興について

大型客船の出迎えに漁協の協力を頂いて、大漁旗を掲げた漁船団で出迎える事ができないか、町長のお考えをお聞かせ下さい。

町長 本町のイメージアップに繋がると考えられますので、漁協とその都度協議し、協力要請をしていきたいと思っております。

議員 海上交通の利便性向上について

フェリーかけるまの国庫補助化の見込みと、シルバールームの拡張について新造船計画と併せてお尋ねします。

町長 国・県の指導を仰ぎながら、航路改善協議会で協議を重ね、航路改善計画

を策定し、国庫補助化の実現に向け鋭意努力して参ります。

について

システムの概要と、今後のスケジュールについてお尋ねします。

町長 ユーストリームを活用したシステムを考えており、開かれた議会を構築するため積極的に進めたいと考えております。

議員 教育・文化、人材育成について

復帰60周年に際し、本町出身の昇曙夢先生や、瀬田良市先生、静忠義先生の活躍にスポットを当てた事業が出来ないか、教育長のお考えをお聞かせ下さい。

教育長 平成25年度の主催事業等へ、冠を掲げる事は可能だと考えます。また、要請があれば本町出身の先人の資料等の提供を含め対応して参ります。

議員 議会のネット中継

町長 郵便局と連携し、情報通信技術を活用した証明書発行システムについては、実施市町村なども参考に検討して参りたいと考えております。

議員 郵便局と提携した行政証明書発行システムの導入について

加計呂麻島・請島・与路島の島民の利便性の向上を目的とした、郵便局と提携した行政発行システムの導入ができないか、町長の見解を求めます。



元井直志議員

議員 休廃校の活用について

近年、学校が休校したり廃校になることが増えていますが、利用許可について、針はどうなのか。又、同様に教員住宅等の活用についてはどうなのか伺います。

教育長 国庫補助を受けて整備した学校施設等については、補助金等の交付目的以外に使用する場合は財産処分という手続きが必要で、文部科学大臣の承認が必要となります。

今後においても、企画課と連携して積極的に活用

を促進して参りたいと思います。

また、休校中の管轄小中学校、押角小中学校及び須子茂小学校につきましては、無償による単年度の施設使用許可であります。

教員住宅につきましては、現在、教職員以外への貸付は7世帯ありますが、今後も教職員入居に遺漏のない範囲で、空き教員住宅への入居を推進して参りたいと考えております。

議員 町営住宅の利用状況について

現在の空家状況、賃料設定、滞納状況、滞納整理状況、利用申し込み状況とこれらの建設方向、町の方針を伺います。

町長 現在の空家状況は、住宅戸数660戸に対し、614戸が入居し、残り46戸中5戸が入居可能で41戸

は入居不能であります。

住宅使用料の設定は、入居者の所得及び公営住宅の立地条件・規模・建設時からの経過年数等によって、公営住宅法及び同施行規則の定めにより算出し決定します。

建設方向・町の方針については、町公営住宅ストック総合活用計画に基づき、年次的に町営住宅の改修を行っており、平成25年度に公営住宅長寿命化計画を策定し、既存住宅の外壁改修や衛生面の向上等、住環境の改善を図って参ります。

議員 観光資源について

嘉徳海岸の砂が、最近異常な減り方をしています。原因のひとつに沖で海砂を採取していることであると考えます。海砂採取の許認可及び採取状況と失われつつある砂浜をどうしていくのか

伺います。

町長 海砂採取の許認可については、漁協の同意を得て、町の意見書を付して、各海砂採取業者が県の方へ申請をして許可を受けております。本町での海砂の採取状況は、請島沖1箇所、



稲田隆一郎議員

議員 奄振事業について

来年度の本町の事業内容をお尋ねします。

町長 奄振の25年度事業内容については、建設課関係で町道網野子く節子線、林道管鈍線、油井岳線、港湾改修加計呂麻地区、海岸高

嘉徳近辺では、青久沖の奄美市住用地区の範囲であります。

嘉徳海岸は、一般海浜地で県管轄となっておりますので、どのような対策がとれるのか、瀬戸内事務所に協議を申し入れているところであります。

潮対策として与路海岸、農林水産課関係でヤギ被害防除対策委託料、阿木名、勝浦、嘉徳地区に営農用ハウス、サンゴ礁保全事業委託料、観光課関係で加計呂麻島展示・体験交流館整備事業となっております。

議員 一次産業について

一次産業政策の基本方針をお伺いします。

町長 農業については、重点品目として位置づけられ

ている、サトウキビ・カボチャ・キウ・タンカン・パッションフルーツ・肉用牛の面積拡大と生産額増大に努めます。特に肉用牛については、本町の山林資源を有効活用した大規模な放牧場を建設し、畜産農家の経営コスト削減を図ります。

また、イノシシ侵入防止柵を被害の多い集落から年次ごとに整備して参ります。水産業については、持続可能な強い漁業経営体を育成・確保するために、「つくり育てる漁業」を基調として、「資源管理型漁業」の推進を図るとともに、水産物の需要拡大や水産資源を有効活用し、生産性の高い安定した水産業の振興策を図って参ります。

特用林産物対策として、シイタケの生産施設の整備を促進し、品質向上・生産額の増大に努めて参ります。

議員 防災対策について

災害時の避難場所の確保と広報施設整備・非常用電源施設設置について伺います。

町長 本町指定の避難場所は、各地区の集会所等61箇所となっております。

広報施設整備については、既存のデジタル防災行政無線設備やエフエムせとうち、携帯ユーザーへの緊急速報エリアメールを携帯電話各社が運用しております。

非常用電源施設設置については、ガスエンジン発電機や照明器具、災害時非常用特設公衆電話機などの防災用資機材整備として事業計画をしております。

議員 教育行政について

少子化に伴う学校規模見直しに対する本町教育委員会の方針についてお伺いします。

教育長 学校規模見直しについて

学校規模見直しについては、加計呂麻地区中学校を3クラス編成できるようにということで、統合を推進して参りましたが、諸鈍校区の同意が得られなかったということもあり、町議会の否決を受け、断念した経緯があります。



向野 忍議員

議員 介護保険事業について

加計呂麻島、請島、与路島の介護保険事業の現状と課題及び課題解決策について伺います。

町長 加計呂麻島は、「加計呂麻園」、「家族のかけがえ」

「ほころしゃ」及び加計呂麻園包括支援センターにおいて居宅介護支援、デイサービス、訪問サービス等を行っております。

請島、与路島は介護サービス事業所が存在しないため、「加計呂麻園」においてデイサービス、訪問サービス等を行っております。

課題及び解決策については、町民がみな等しく介護サービスを受けることが出来るということが理想ですが、請島、与路島に介護サービス事業所の開設は難しいものと考えております。

今後、児童・生徒、保護者や地域住民の意見等を尊重し検討していかなければと考えております。

また、加計呂麻留學制度等を更に推進し、児童生徒数の増加に向け努力していきたいと考えております。

のと考えています。今後も「加計呂麻園」による介護サービスを継続し、充実していきたいと考えています。

議員 請島、与路島は、同一町内であっても、本島側と格差が生じ、離島間においても加計呂麻島と格差が生じている。この現状について町長はどのように感じられるか。

町長 格差があると認識しております。

議員 古仁屋から介護に行く家族に対して海上移動費の補助等の措置はとれないか。航空会社には介護帰省割引の制度がある。本町は独自の割引制度等を検討すべきでは。

町長 西方、山郷、東方、加計呂麻島、請島、与路島

等を網羅した形で主管課と協議したい。

議員 施設入所の判定等において、離島の離島であるが故の格差是正のため、他地域の高齢者より優先的に入所できるような措置はとれないか。

保健福祉課長 入所判定委員会で介護度の大きさ、家族構成、地理的条件等を加味して点数を付け、申込み順ではなく点数の高い人から入所してもらうようにしている。

議員 **加計呂麻島展示・体験交流館整備事業**について
①これまでの経緯と今後のスケジュールについて伺います。

②事業の目的、内容、管理運営等について伺います。

町長 ①建設検討委員会や各部門別部会で協議を進めています。平成25・26年度に建物本体の整備を予定しています。ソフト面につきましても、平成27年度開所に向けて26年度には旅行会社等へのPR活動の出来るようにしたいと考えています。

②本町の自然や文化などの情報発信の場、戦跡等に見る平和教育の場、地元住民とふれあうことの出来る体験交流の場、閑散期や荒天時の集客対策として、各種体験メニューを提供し、観光客に本町を満喫して頂けるような施設にしたいと考えています。開所から数年は、行政が運営する予定で、その後は指定管理者制度の導入を検討しています。

議員(指摘) 具体的な運営方法や維持管理、体験メニュー等が詰められていない。議会や町民がよく分からな

いまま約3億の大きな事業が進むのはおかし。事業目的達成のためにも行政は町民に納得のいく説明責任を果たすべきである。



鎌田愛人議員

議員 **災害に強いまちづくりについて**

町長の出張が組まれていて、台風が本町に上陸すると分かっている時、今後の町長の対応は。

町長 私の判断ではいけませんので、今後とも総務課と協議して進めたい。

議員 **公共施設の整備**

について

本町の文教厚生関係施設は、今後多くの財源を必要とする施設整備が数多くありますが、今後の方向性を伺います。

町長 25年度に「瀬戸内町長期振興計画後期計画」や「都市再生整備計画」を策定するようになってきているので、その中で検討します。

議員 **加計呂麻島の農業の振興と活性化について**

「瀬相港に農産物等の直売所を建設してほしい」との島民の声があるが、町長の見解を伺います。

町長 地域経済活性化の為に、何時でも地域の特産品が購入できる環境づくりを整える必要があると認識しております。現在、設置

場所の確保や六次産業との連携を図る為にも、地域資源の活用方法を精査し、検討しているところでもあります。

議員 **古仁屋高校の振興対策について**
平成25年度からの新たな対策を伺います。

町長 ①各種検定試験等受験助成事業として受験料の2分の1の助成。

②「古仁屋高校ふるさと留学制度」を創設し、郡内在住者を対象として、月3万円の2人分を計上。

③古仁屋高校PR用DVDを作成し、各郷友会及び回帰フェア(東京・大阪)、移住交流イベントにて説明いたします。

④古仁屋高校教員による中学校の学習支援及び部活動等の合同練習等での指導。

議員 桜のオーナー制度について

①当初、何口の登録があり、現在、何本育っているのか。
②今後の方向性は。

町長 ①当初192の個人や団体の申し込みがあり、414本を植栽。現在残っ

ているのは、199本。一部を除いてほとんど育っていない現状であります。

②今回、苗木ではなく3年物を30本植栽しました。この桜の育成状況を見極めて、平成30年には「桜の名所」にできるようにしたい。

町長 ナショナル・トラスト協会の活動は、世界自然遺産登録を目指す奄美や本町にとっても一定の理解を示せる活動であり、奄美の知名度アップには、国内の企業への発信力は大きいと考えられます。今後とも環境省と連携を図りながら対応して参りたいと思います。

と考えています。

議員 「見守り隊」の支え合い活動について

本町の「見守り隊」は、現在何名くらいでどのような活動をしているのでしょうか。

議員 エフエムラジオ難聴対策について

4月でエフエムラジオセとうちが開局1年になりましたが、難聴対策はどうでしょうか。

町長 本町の「見守り隊」につきましては、民生委員58名、在宅福祉アドバイザー131名であります。

活動内容は、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りなど援護を必要とする人々に対して声かけや安否確認などを行ない、民生委員、在宅福祉アドバイザー、各地区の区長が連携を密にし、要援護者の緊急時や福祉ニーズの要望などの連絡が必須な場合に、役場保健福祉課や社会福祉協議会へ連絡するなどの活動を行なっております。



中村義隆議員

議員 太陽光発電施設の推進について

本町でも町営住宅の屋上スペースに階段灯の電源として設置は検討できないでしょうか。

議員 世界自然遺産候補の暫定リストについて

本町の森100ヘクタールをナショナル・トラスト協会が購入したと報道されておりましたが、その内容を伺います。

町長 集落の地形的条件や建物の立地条件などにより、対策が遅れているのが現状であります。このため、消防防災係とも連携し、難聴地域には、より受信感度の高い防災ラジオに切り替え難聴地域の解消に努めたい

と

町長 既存の町営住宅に太陽光発電設備を設置するた

編集後記

▼奄美らしい青空に、夏の始まりを感じる季節となりました。

そして、二月定例会では、新年度の各会計予算が可決され、新たな年がスタート致しました。

▼私たち議会は、今年度を重要な節目の年と位置づけ、「持続可能なまちづくり調査特別委員会」及び「世界自然遺産登録に向けての調査特別委員会」を設置いたしました。

奄振延長や長期振興計画の後期計画の策定、世界自然遺産登録等の重要課題に対し、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。

◆季節の変わり目ですので、健康には留意され、共に頑張ってくださいませう。(林)